



# 事業もつとPRを

## 大学生国際貢献 インターンシップ 5人が報告会

県内大学生に渡航費など補助し、国際貢献活動を体験してもらう県の国際貢献インターンシップ事業の本年度報告会が二十一日、岡山市内であり、

学生五人が体験内容や提言などを発表した。

学生は吉備国際大福祉ボランティア学科の三、

国際貢献の活動体験について報告する学生ら

四年生。今夏にベトナムやインドを訪れ、国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市櫛津）や現地の非政府組織（NGO）の下で約二週間、貢献活動を体験した。

学生たちは、現地のスラム街や粗末な学校の現状を撮影したビデオを示し、教育・医療面で支援する各NGOの取り組みや現地の人々との交流、

施設の補修作業体験などを紹介。「施設を建てるだけでなく、幸福な暮らしを支援するのが福祉だと実感した」と感想を述べた。

県に対する提言では、「せっかくの事業が知られていない」「県だけでなく中国地方や国レベルで連携し、貢献活動を広げていくべき」などの意見が出た。